

競争ルールの検証に関するWG（第42回）

事業者ヒアリング資料

2023/4/12

株式会社オプテージ

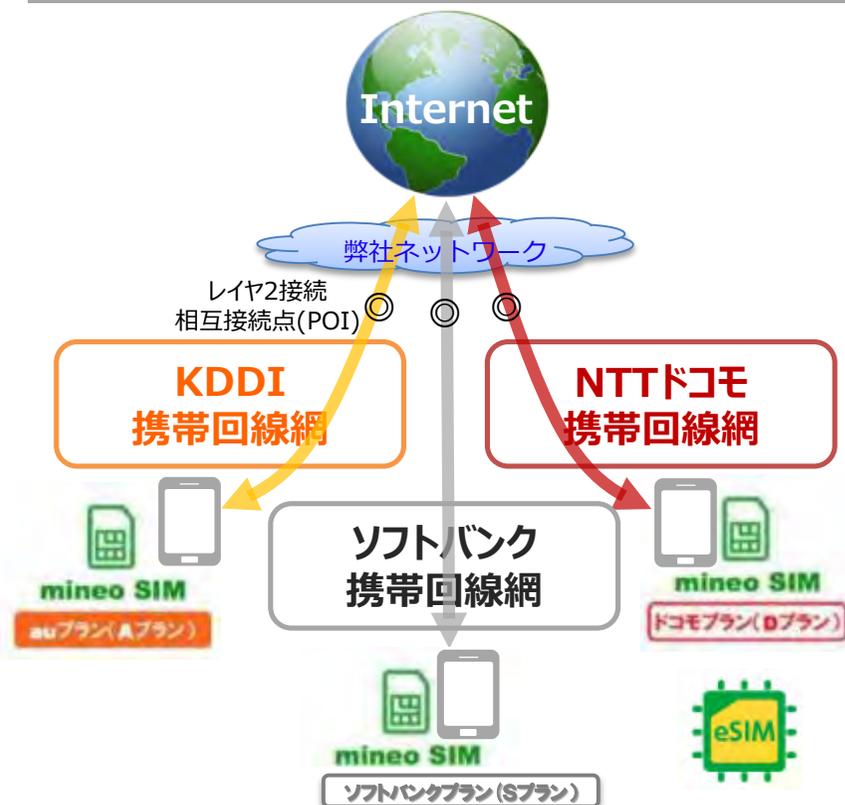
OPTAGE
What's next?



弊社サービス概要・取り組み

- ^{マイネオ}mineoというブランド名でMVNOサービスを2014年6月より提供開始
- MNO3社とレイヤ2（L2）接続する業界初のトリプルキャリア対応MVNOとして活動中
- 2015年より最低利用期間及び解約精算金を設けない仕様とし、2022年よりeSIM対応の推進、2023年7月よりMNPワンストップ化への対応を予定しており、今後も乗換コストの低減に向けた取組を行っていく所存

トリプルキャリア対応イメージ



乗換コストの低減に向けた取組

従来の 取組 (2015年-)	2015年7月から <u>最低利用期間及び解約精算金を設けない仕様</u> としており、従来より乗換コスト低減に資する取組を実施
至近の 取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022年8月に<u>au回線</u>、2023年2月に<u>docomo回線</u>の<u>eSIM対応</u>を実施済 ● 現在、システム改修を進めており、2023年7月に<u>MNPワンストップ化への対応</u>を予定

- データ容量で選択いただく「マイピタ」に加えて、通信速度で選択いただく「マイそく」を提供中
- 「マイそく」では更に安価にご利用いただく「ライト」と「スーパーライト」を新たに提供

＼ わたしの「ちょうどいい」 /

**データ容量で
お選びいただく**

マイピタ

1GB

5GB

10GB

20GB

通信速度で選ぶデータ無制限プラン

**通信速度で
お選びいただく**

マイそく

プレミアム

スタンダード

NEW ライト

NEW スーパーライト

最大3Mbps
最大1.5Mbps
最大300kbps
最大32kbps

	マイピタ (2021年2月～)	マイそく (2022年3月～) ※月～金の12時～13時は最大32kbps
概要	「必要なものを必要なだけ」というコンセプトに沿って、自分に合ったデータ容量をシンプルな選択肢から選べる料金プラン	利用者が集中する月～金の12時～13時の通信を控えていただく代わりに、容量制限なくおトクにデータ使い放題になる通信速度で選べる料金プラン
サービス 仕様・料金 ※料金は月額料金 税込価格	<p>【データ容量】 1GB : 1,298円 5GB : 1,518円 10GB : 1,958円 20GB : 2,178円</p> <p>※上記は音声通話 + データ通信の料金</p> <p>【通信速度】 最大通信速度はMNO各社相当</p>	<p>【データ容量】 無制限</p> <p>【通信速度】 プレミアム : 最大3Mbps : 2,200円 スタンダード : 最大1.5Mbps : 990円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>2022年8月 ライト : 最大300kbps : 660円</p> <p>2023年2月 スーパーライト : 最大32kbps : 250円</p> </div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> <p>電話やメッセージのやり取りが中心のお客さまや 障害時のバックアップ回線として備えたいお客さま向け</p> </div>

- 至近でも、MNOにはない**MVNOならではの独自サービス**を提供中
- 今後もお客さまからの声などを参考にしながら、**スピード感を高めて積極的に独自サービスを展開**していく所存

NEW! たまに電話するなら / 専用通話アプリなしで!

10分通話パック

最大10分間(440円分)の通話

月額 **110円** 税込
最大10分間翌月に繰り越し可能

2023年2月1日提供開始

月に**最大10分（440円分）**までの国内通話が可能で、余った通話時間は、**最大10分間翌月に繰り越し可能**

かけ放題プランよりも**ライトな使い方**でおトクに、かつ**従量料金よりも安心して通話したい方向け**のプラン

NEW! 広告によるパケット消費を抑える!

広告フリー **無料!**
お申込み要

2023年3月1日提供開始

ベストエフォート※1で**広告**※2の**通信量のカウントをフリー**にするオプションを提供

意図しない広告表示によって消費される通信量を、**本来使いたかったコンテンツへの通信に少しでも還元**することを目的とした、独自のサービス

※1:弊社が保有する広告配信サーバーのIP アドレスリストに対する通信が対象
※2:YouTube やSNS での広告等、技術仕様上通信量削減できない広告もあります

NEW! 深夜早朝のデータ使い放題 / 22時半～7時半

夜間フリー

速度制限なしで使える

月額 **990円** 税込

2023年3月17日提供開始

夜間（22時半～7時半）に速度・容量制限なくデータ使い放題となるオプションを提供

MVNOは昼間の時間帯は帯域が混雑するが、**比較的余裕のある夜間の帯域を有効活用**するもの

- 2014年のサービス開始当初から「必要なものを必要なだけ」というコンセプトに沿って、安価なプランを提供
- 2021年にシンプルなデータ容量プランヘリニューアルと値下げを行った「マイピタ」の提供や2022年に通信速度でご選択いただく「マイそく」の提供により、ARPUは減少傾向

構成員限り

競争環境に関する弊社の受け止め

事業法第27条の3の執行等について

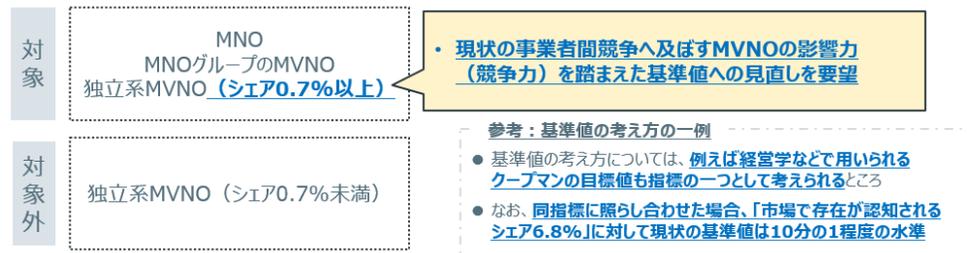
- 事業法改正以前よりシンプルで低価格・縛りのないプランを提供（既往契約なし）
- 社内関連部門や販売代理店において、都度適合性のチェックを行い、規律遵守を徹底
- 一方、MNOグループに比べ事業規模の小さい独立系MVNOは、負担が大きく事業運営への影響は少ないものと思科
- また、独自サービスを創出し、利用者に新たな価値提供を行う観点やMVNO含めたモバイル市場の活性化促進の観点からも、独立系MVNOに対する規律の緩和が有効ではないか

事業法第27条の3の規律の対象事業者の考え方の見直しについて

14

- 法改正当時と比較して競争環境は変化し、MVNOの競争力は低下していると想定されることに加え、MVNOの事業構造に起因するMNOとの環境面の差は今後も継続することから、MNOとMVNO間の競争力の差がさらに広がる恐れ
- 今後の5G（SA）やBeyond5Gの発展に繋げていくためには、モバイル市場においてMVNOが競争の軸としての役割を果たしていくことが重要であり、MVNOとMNOが対等に競争できる環境の整備のためには、両者の競争力の差を縮める施策が必要
- この点、事業法27条の3の規律は、事業規模の小さいMVNOによる創意工夫や独自性のあるサービス創出の制限や迅速なサービス展開などに影響を及ぼしている状況
- 現状の事業者間競争に及ぼすMVNOの影響力（競争力）を踏まえ、MNOと同等に一部のMVNOにも課される事業法第27条の3の対象事業者の基準の見直しを要望

事業法27条の3の規律の対象事業者の基準に関する要望



- 小売り料金の市場競争の活発化は利用者にとっては望ましいものの、**価格帯で優位性が無くなったMVNOにとっては厳しい競争環境**
- 品質面では、MNOのプランは混雑時でも高速である等品質が高く、**MVNOが同等品質のサービス提供をするには極めて困難な接続料の水準**
- 営業面では、MVNOが低コストでの営業方法の工夫を図っている中、**サブブランドや廉価プランはメインブランド並みの広告出稿、豊富な店舗数を活用した接客販売等、営業費の使い方に大きな差がある状況**

		MNO			独立系MVNO
		メインブランド	サブブランド	廉価プラン	
主なデータ容量		中～大容量	低容量～中容量	中容量	低容量～中容量
価格帯		高価格	低価格	低価格	低価格
品質(混雑時の速度)		高速	高速	高速	低速
営業関係	広告出稿	大	大	中	小
	中心となる販売方法	接客販売 ※携帯ショップ等	接客販売 ※携帯ショップ等	WEB販売 ※一部ではショップ販売	WEB販売
料金割引		大 ※セット割引や家族割引等	大 ※セット割引や家族割引等	無し	小

独立系MVNOと競合

- 至近での転出先はサブブランドが最も多く、サブブランドと廉価プランへの転出割合は増加傾向であり、大きな脅威であると認識
- セット割引等で安価に提供するサブブランドにおいても、今後スタックテストの対象としていただき、利用者料金の検証を行っていただくことが望ましい

構成員限り

- 5G(SA)時代においては、特にIoT市場で同時多接続・低遅延など5G(SA)の特長を活かしたソリューションによって更なる市場拡大が期待される^{ところ}、**MVNOの市場参入が大幅に遅れた場合、4Gサービスと同様、MNOによる市場寡占に繋がる懸念**
- **MNOは2022年頃から5G(SA)の商用サービスを開始している一方、独自性を発揮できるL2接続相当によるMVNOへの機能提供は、現状実現時期が不透明な状況**
- 現在の協議状況を踏まえると、**L2接続相当によるMVNOへの機能提供時期の早期明確化や更なる協議推進が重要**

< L 2 接続相当と L 3 接続相当の違い >

	L 2 接続相当	L 3 接続相当 (サービス卸)
柔軟性・独自性	サービス設計の自由度が高い ※スライシングやMECの活用等、 独自性の発揮が期待される	MNOと同等のサービス
提供料金	独自の価格帯設定が可能	卸料金以下の価格設定は困難
現状の課題	費用規模やスケジュールが不透明 →サービス提供開始時期の見通しが立たない	(提供済)

**MVNOの独自性の発揮が期待される
L 2 接続相当の早期実現が重要**

**独自性は発揮できず
MNOとの競争は困難**

ヒアリング事項に対する回答

ヒアリング事項	弊社回答
通信・端末の分離に係る規律の遵守	
<p>規律を遵守するために、具体的にどのような取組を実施しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 弊社では事業法改正以前よりシンプルで低価格、契約期間等に縛りのないメニューを提供しております。 ● 弊社内の関連部門に対して、改正法やガイドライン等について説明を行い、規律を遵守徹底するよう周知・教育を行っております。また、お客さま対応サポートシステムにおいても規制の解説や注意点を参照できるようにするなど、システム面の対応も行っております。 ● 新プランやキャンペーン等の施策検討のタイミングにおいて、都度規律との適合性をチェックしておりますが、事業規模の小さいMVNOにとっては、人的・時間的コスト面での負担が大きく、また、サービス創出時の迅速な展開等に影響を及ぼしている状況です。
<p>規律を販売代理店に遵守させるために、貴社として具体的にどのような取組を実施しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 販売代理店独自の施策等は行っておりませんが、規律の遵守のため、販売代理店の責任者に対して、規律の説明及び遵守徹底するよう周知を行っております。
既往契約の解消	
<p>既往契約の解消のためにこれまでに実施した取組の具体的な内容及びその結果としての解消状況はどうなっているか（事業法第27条の3第2項第1号に適合しない契約及び同項第2号に適合しない契約それぞれについて）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 弊社では事業法改正以前より改正法に適合した料金プランを提供していただいたので、改正法の施行に伴う料金プランの見直しを実施しておりません。このため、既往契約が存在せず、移行のための取組は実施しておりません。
<p>（既往契約が残存している場合）今後、解消を更に進めるために具体的にどのような取組を予定しているか（解消目標時期等）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記の通り、弊社では既往契約は存在しておりません。

ヒアリング事項

弊社回答

全体

報告書2022以降、新たに実施した料金・サービスの見直し（料金の値下げ、新プランの開始、新たな割引メニューの開始、月間通信容量の増加等）は、どのようなものがあるか。

- 報告書2022以降、通信速度で選ぶデータ無制限プランの「マイそく」において、最大通信速度300kbpsのライトプラン（月額660円）と、最大通信速度32kbpsのスーパーライトプラン（月額250円）のメニューを追加で提供いたしました。
- また、オプションとして、深夜・早朝の夜22時半～7時半の間、データ使い放題かつ速度制限なしでご利用いただける「夜間フリー」や広告の閲覧に消費するパケットをベストエフォートで削減する「広告フリー」を提供いたしました。
- 更に音声通話プランとして、月数回程度の通話を行うライトな使い方のお客さま向けに、音声10分通話パック（月額110円）を提供いたしました。本プランは余った通話時間は翌月に繰り越し可能です。

モバイル市場の現状についてどのように評価しているか。特に、事業法第27条の3の施行以降のモバイル市場の環境変化についてどのように捉えているか。

- MNO、サブブランド、MVNO各社から新料金プランや値下げが発表される等、モバイル市場の競争はさらに激しくなっていると認識しております。
- なお、「接続料の算定等に関する研究会」で検討されているモバイル分野のスタックテストにつきまして、廉価プラン（ahamo/povo/LINEMO）の3つのプランが対象で検証を進めていただけるものと認識しているところ、弊社サービス（低容量帯（1～5GB））における転出先は、サブブランドが最も多く、脅威と感じております。この点、セット割引等で安価に提供するサブブランドにおいても今後のスタックテスト対象プランとしてご検討いただき、MNOとMVNOとの間のイコールフットingの確保について、さらに推進いただくことを要望いたします。

当該環境変化を踏まえた、戦略（料金、サービス等）、今後の見通しは、どのようなものか。

- 消費者の皆様には選ばれるために、より魅力的でMNOとは異なる独自性のあるサービスを創出していくことが重要であると考えています。
- その一つとして、前述のデータ使い放題プラン「マイそく」のライトやスーパーライト、オプションの「夜間フリー」や「広告フリー」、「音声10分通話パック」を提供しております。

ヒアリング事項

弊社回答

5Gプラン、大容量プラン

現在の5Gプラン、大容量プランの提供状況はどのようなものか。また、今後の考え方や課題はどうか。

- 現在は、小～中容量プランでの競争が活発化している状況となっているものの、今後は5Gサービスの普及に伴いリアルタイムの映像配信といった動画サービス等の利用が増加するため、大容量プランのニーズが高まっていくものと想定しております。
- 弊社では2020年12月より5G通信を提供しておりますが、利用者ニーズに合わせるべく、2021年12月よりオプション料金（旧220円）を無料に変更いたしました。無料化後、5G通信オプションの申し込みが大幅に増加しております。
- 弊社は今後、5G（SA）による機能を活用することで、超高速通信や同時多接続通信を用いたIoTサービス等、「MVNOならではの」「弊社ならではの」の特色のある独自サービスを創出し、利用者に新たな価値提供を行う所存です。
- このため、5G（SA）サービスの早期導入を目指し接続方法やスライス利用等について、MNO各社との具体的な協議を進めておりますが、標準化等を理由に網改造料の規模や具体的なスケジュールが明確ではなく、サービス提供開始時期の見通しが立たないことから、5G（SA）市場への参入時期が大幅に遅れ、MNOの寡占化がすすむことが懸念しております。
- また、音声サービス実現に必要となるIMS接続についても同様に協議が円滑に進まない状況のため、今後も事業者ヒアリングの開催等、適切に事業者間協議が実施されているか注視いただき、課題等が確認された場合は事業者間協議が活性化する取り組みを推進いただくことを要望いたします。

ARPU

令和元年事業法改正以降のARPUの状況及び今後の見通しはどのように考えているか。

- 2021年に提供した「マイピタ」や2022年に提供した「マイそく」により、ARPUは減少傾向です。

ヒアリング事項	弊社回答
<p>全体</p> <p>報告書2022以降の端末販売の状況（販売台数の推移、価格帯別（低・中・高価格帯）販売台数の割合、チャンネル（店舗、オンライン）ごとの販売台数の割合）はどうなっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none">● 弊社の販売状況は下記グラフの通りです。  構成員限り● また、弊社端末販売チャンネルは、オンラインが中心となっております。報告書2022以降もチャンネル別の販売割合に大きな変化はございません。  構成員限り

構成員限り

ヒアリング事項	弊社回答
<p>全体</p> <p>端末市場の現状についてどのように評価しているか。特に、事業法第27条の3の施行以降の端末市場の環境変化についてどのように捉えているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SIMフリー端末でも、高機能高価格端末から廉価端末まで取り揃えられるようになり、端末購入の選択肢が増え、利用者の幅広いニーズに応えられやすくなったことを歓迎しております。MVNO利用のお客さまは基本的には節約志向のお客さまが多いことから、2～4万円未満の価格帯の廉価端末のニーズが増加しているものと捉えています。 ● MNO各社において最新端末の安値販売については承知しており、弊社端末販売数の減少にも一定程度影響があるものと考えておりますが、通信サービスプランや弊社端末のラインナップ、弊社が実施するキャンペーン等も関係するため、直接的な要因となっているかは掴みにくい状況でございます。

ヒアリング事項

弊社回答

最新端末の安値販売

MNO各社において最新端末の安値販売が広く行われているという指摘があるが、どのように評価しているか。

- 法改正以降も規律違反が散見されてきた状況を鑑みると、まずは規律順守を徹底することが重要であるとともに、利用者間の公平性を継続的に確保するために少なくとも現行の上限額2万円の維持は必要と考えます。
- また、端末の極端な廉価販売は、規制対象外の端末単体割引と組み合わせで実施されているため、従来より対象となる回線とのセット割引に加えて端末単体割引も規制の対象とし、回線契約への過度な誘引を助長することのないよう、セット割引と端末単体割引の上限額は同等（2万円）とすることが望ましいと考えております。
- なお、端末購入プログラムにおける割引特典等の利益提供についても、潜脱的な端末割引に繋がるおそれも想定されることから、規制対象として上限額に含めることも有効ではないかと考えます。
- これまで取り組みが進んできた「通信と端末の分離」から回帰し、再びMNO各社による過度な端末割引等が実施されることで、市場競争に歪みが生じるおそれがございますので、総務省殿においては、引き続き、拘束的な提供条件の撤廃等、「通信と端末の分離」のさらなる推進をお願いいたします。

ヒアリング事項	弊社回答
5G端末	
<p>報告書2022以降の5G対応端末の取扱い・販売状況はどのようなものか。特にミリ波対応端末についてはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● MNOによる5Gサービスの提供開始により、端末市場も5G対応端末が主流になりつつあると認識しております。なお、弊社では端末の自社開発は行っておらず、各メーカーのSIMフリー端末の調達を行っているため、実態的には各メーカーの対応状況により取扱いが増加する傾向となるため、弊社でも5G対応端末の取扱いが増加しております。 ● ミリ波対応端末についてはSIMフリー端末がほぼ存在しないことから、現在弊社での取扱いはございません。今後市場ニーズの高まりに応じて、取扱いを検討していきたいと考えております。
中古端末	
<p>中古端末の取扱いの状況はどうか。今後の見通しはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在、弊社での中古端末の取扱いはございません。 ● 今後の中古端末の取扱いについては、市場状況等を鑑みて検討いたします。
<p>既に中古端末の取扱いを開始している事業者においては、最近の取扱いの状況はどのようなものか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 上述のとおり、中古端末の取扱いは行っていないため、中古端末の取扱い事業者に関する見解を持ち合わせておりません。

ヒアリング事項

弊社回答

全体

報告書2022以降、乗換えコストの更なる改善に向けて行った取組はあるか。ある場合には、その取組を具体的に示していただきたい。

- 2015年7月より最低利用期間及び解約精算金を撤廃済であり、お客さまは契約期間を意識することなく弊社サービスのご利用が可能となっております。
- 乗換手続きがオンラインで完結するeSIMは2022年8月にau回線、2023年2月にdocomo回線の対応をいたしました。またeSIMの新規申込数も増えている状況です。

構成員限り

- また、MNPワンストップ化に向けた取組として弊社もシステム改修を行い2023年7月より対応予定です。

MNPに伴う課題

MVNOから「MVNOはMNPの踏み台にされるような短期解約が非常に大きく増加するといった課題が発生」しているとの指摘があったが、このような課題に対してどのように考えているか。また、この課題を解決するための取組としてどのようなものが考えられるか。

- MVNOを踏み台とした短期解約については、MNOやMNOの販売代理店における端末の極端な廉価販売など、過度な新規契約特典等が起因して生じているものと想定しております。
- また、スイッチングコストの低廉化に資するMNP転出手数料や解約違約金の大幅な減額・廃止を誠実に対応した事業者にとっては、MNPを目的とした短期解約に対して、有効な対策を講ずることが困難な状況と考えます。
- この点、課題の解決に当たっては、総務省殿による覆面調査の強化や規律の遵守徹底をいただくとともに、必要に応じてルールの見直しを行っていただくことを要望いたします。

